

救急安心センター（#7119）

急な病気やけがをしたとき、救急車を呼んだほうがいいのか、今すぐ病院に行ったほうがいいのかなど迷うことがあります。

このような時、電話で医師や看護師等の専門家からアドバイスを受けることのできる電話相談事業が「救急安心センター（#7119）」です。

病気やけがの症状を把握し、以下をアドバイスをします。

- ① 救急相談：緊急性の有無、応急手当の方法、受診手段
- ② 適切な医療機関を案内

救急安心センター事業（#7119）

- 医師・看護師・相談員が相談に対応
- 病気やけがの症状を把握
- 緊急性、応急手当の方法、受診手段、適切な医療機関などについて助言
- 相談内容に緊急性があった場合、直ちに救急車を出動させる体制を構築
- 原則、24時間365日体制



救急電話相談
医療機関案内

緊急性の高い症状

迅速な救急車の出動



緊急性の低い症状

医療機関の案内



住民



専用回線
（#7119）

- 病院に行った方がいいの？
- 救急車を呼んだ方がいいの？
- 応急手当はどうしたらいいの？

救急安心センター（#7119）

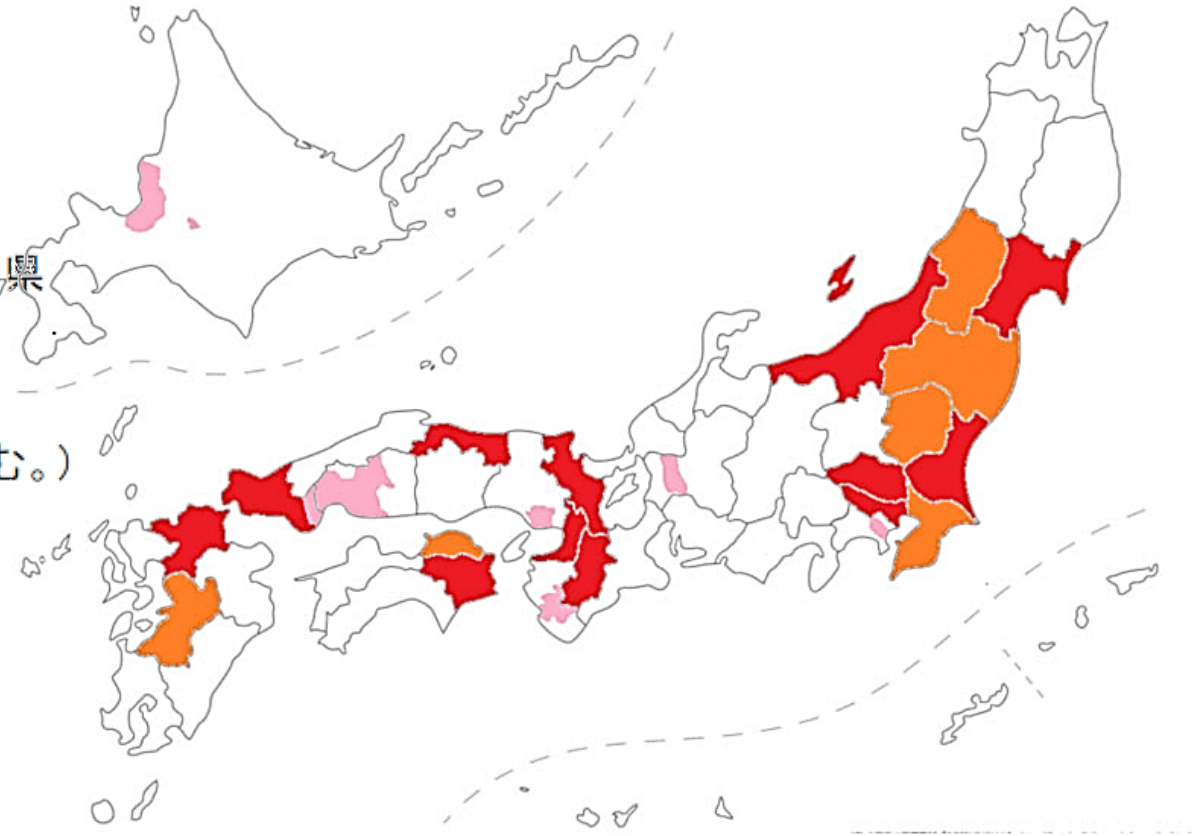
実施エリアは？

○県内全域:12地域

宮城県、茨城県、埼玉県、東京都、新潟県、京都府、
大阪府内全市町村、奈良県、鳥取県、山口県、徳島県、福岡県

○県内一部:6地域

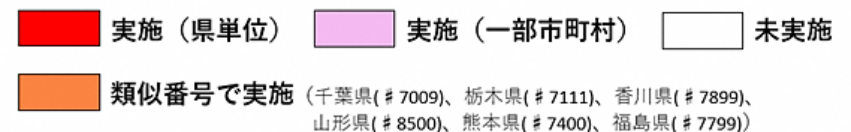
札幌市(周辺含む。)、横浜市、岐阜市(周辺含む。)、
神戸市(周辺含む。)、田辺市(周辺含む。)、広島市(周辺含む。)



エリア人口：全国5,928万人

人口カバー率：47.0%

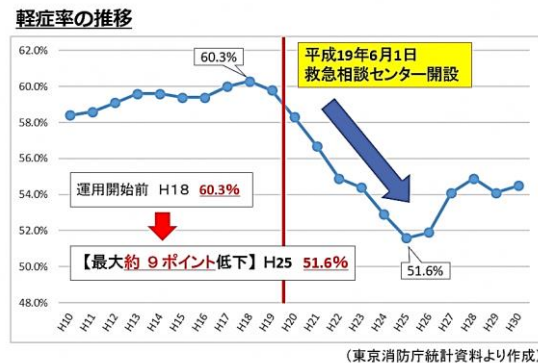
国は全国一律の運用をめざしています



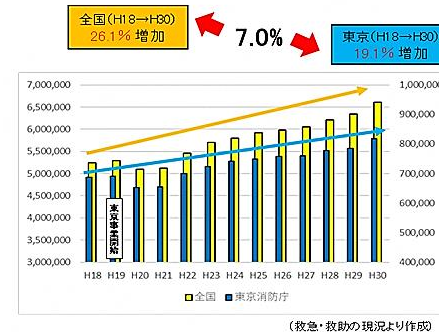
#7119の事業実施効果

① 救急車の適正利用(適時・適切な利用)

- 軽症者の割合の減少効果が期待できる。
- 不急の救急出動の抑制効果が期待できる。
- 潜在的な重症者を発見し救護できる。

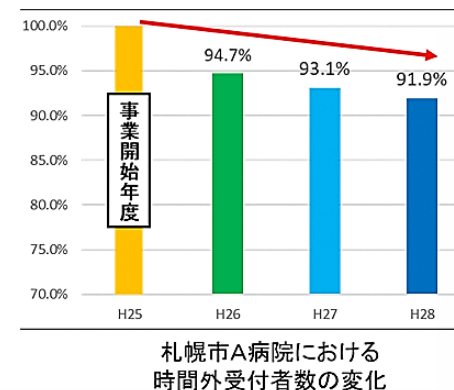
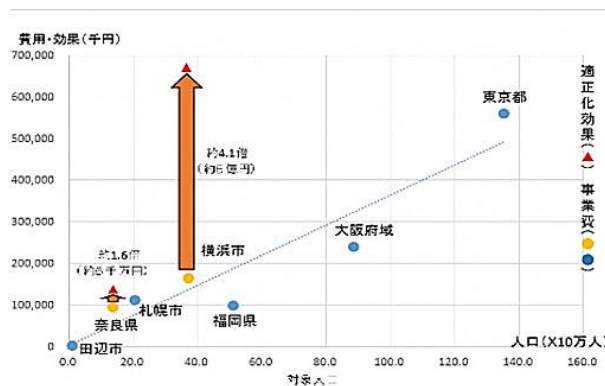


救急出動件数の抑制効果



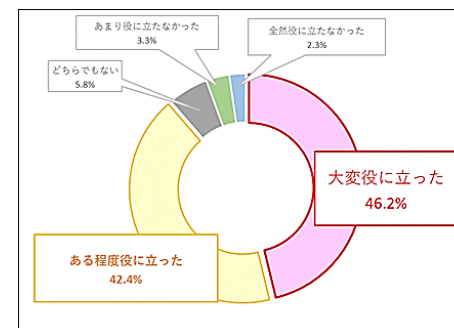
② 救急医療機関の受診の適正化

- 医療費適正化効果として大きな効果が見込まれる。また、規模が大きくなるほど、大きな効果が期待できる。
- 医療機関における時間外受付者数の減少効果(札幌市A病院)
平成25年と比較し、毎年時間外受付者が減少



③ 住民への安心・安全の提供

- 大阪市消防局が実施したアンケートでは、利用者の約9割が「大変役に立った」、「ある程度役に立った」と回答



出典:平成30年度「救急安心センターおおさか」に関するアンケート(結果)

#7119の事業実施効果

① 救急車の適正利用(適時・適切な利用)

- 軽症者の割合の減少効果が期待できる。
- 不急の救急出動の抑制効果が期待できる。
- 潜在的な重症者を発見し救護できる。

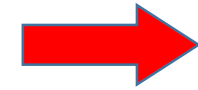
119番通報を補完する役割 ~119番通報を悩んだら~



増加する救急需要対策



受診控えの解消



救命の連鎖

② 救急医療機関の受診の適正化

- 医療費適正化効果として大きな効果が見込まれる。
また、規模が大きくなるほど、大きな効果が期待できる。
- 医療機関における時間外受付者数の減少効果
(札幌市A病院)
平成25年と比較し、毎年時間外受付者が減少



時間外受診をしなくて済んだ
→診療報酬の時間外割増分減少
救急車を利用しなかった
→夜間休日救急搬送医学管理料減少

③ 住民への安心・安全の提供

- 大阪市消防局が実施したアンケートでは、
利用者の約9割が「大変役に立った」、「ある程度役に立った」と回答



救急相談・病院案内
救急車を呼ぶ前の不安解消

救急車を呼ぶほど緊急じゃないようだけど… でも心配…
病院に行った方がいいかなあ？…

#7119の事業実施効果

④ 時代の変化への的確な対応

- 人生100年時代に向けたリスクの高い高齢者の増加への対応や、地方の深刻な過疎化への対策
- 地域の救急搬送・救急医療の担い手不足への対応

⑤ 新型コロナウイルス感染症対策

- 感染のリスクとなる不必要な外来受診・外出の抑制による重症化防止
- 新たな感染症への対応なども含め、受け皿としての相談窓口

今後効果を確認

予定している運用方式

- (1) 運営方式：民間事業者と委託契約
- (2) 業務内容：救急相談、医療機関案内
- (3) 受付時間：24時間365日受付
- (4) 対象年齢：全年齢 ※小児相談は#8000もあり
- (5) 相談体制：相談員（看護師）、医師（オンコール可）
全県で当面は3回線運用

救急安心センター事業（#7119）

い りょう そ う だ ん
こども医療でんわ相談



発熱、頭をぶつけた、嘔吐、けいれんなど 判断に困ったら

8 0 0 0

①受付時間

月～金曜日は18時から翌朝8時まで
土曜日・休日・年末年始は24時間

②相談員

看護師（必要に応じて小児科医）

★ #8000の使い方



今後のスケジュール

令和4年9月上旬	導入に関する方針決定、周知
	令和5年度予算要求（県・市）
	予算議決（県・市）
令和5年4月	委託先契約（県）
10月	運用開始



#7119は住民の安心安全を守る